



2022年5月17日

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル
代表者名 代表取締役社長 中島 將典
(コード番号: 8275 東証プライム)
問合せ先 常務取締役 加藤 康二
電話 03-3498-1541

(訂正) 「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表いたしました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

訂正箇所は___線で示しております。

記

1. 訂正理由

「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後、記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、訂正を行うものです。

2. 訂正箇所

添付資料2ページ

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

【訂正前】

(省略)

利益面では売上総利益が前期に比べ1,187百万円増加(前期比6.7%増)する中で、販売費及び一般管理費は人員増による人件費増加の影響等で前期に比べ1,118百万円増加(前期比7.3%増)した結果、営業利益は2,685百万円(前期比2.6%増)、経常利益は持分法による投資利益の増加や貸倒引当金繰入額の減少により2,855百万円(前期比**15.4%**増)、事業譲渡益など特別利益を446百万円計上したことにより親会社株主に帰属する当期純利益は1,836百万円(前期比**36.3%**増)となりました。

(省略)

【訂正後】

(省略)

利益面では売上総利益が前期に比べ1,187百万円増加(前期比6.7%増)する中で、販売費及び一般管理費は人員増による人件費増加の影響等で前期に比べ1,118百万円増加(前期比7.3%増)した結果、営業利益は2,685百万円(前期比2.6%増)、経常利益は持分法による投資利益の増加や貸倒引当金繰入額の減少により2,855百万円(前期比**15.0%**増)、事業譲渡益など特別利益を446百万円計上したことにより親会社株主に帰属する当期純利益は1,836百万円(前期比**35.3%**増)となりました。

(省略)

添付資料 14 ページ

2. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

【訂正前】

(省略)

この結果、当連結会計年度の売上高は 1,082,945 千円減少し、売上原価は 1,001,557 千円減少し、販売費及び一般管理費は 82,700 千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 1,311 千円増加しております。

(省略)

【訂正後】

(省略)

この結果、当連結会計年度の売上高は 1,083,940 千円減少し、売上原価は 1,002,552 千円減少し、販売費及び一般管理費は 82,700 千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 1,311 千円増加しております。

(省略)

添付資料 15 ページ

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

【訂正前】

(省略)

当該変更により、従来の方法に比べて当連結会計年度の「フォーバルビジネスグループ」の売上高は 457,273 千円減少、セグメント利益は 6,732 千円減少し、「フォーバルテレコムビジネスグループ」の売上高は 618,490 千円減少、セグメント利益は 13,853 千円増加し、「その他」の売上高は 5,808 千円減少、セグメント利益は 5,808 千円減少しております。

【訂正後】

(省略)

当該変更により、従来の方法に比べて当連結会計年度の「フォーバルビジネスグループ」の売上高は 457,273 千円減少、セグメント利益は 6,732 千円減少し、「フォーバルテレコムビジネスグループ」の売上高は 618,490 千円減少、セグメント利益は 13,853 千円増加し、「その他」の売上高は 8,176 千円減少、セグメント利益は 5,808 千円減少しております。

以 上